

平成27年度 第6回小平市図書館協議会要録

1 日 時 平成28年3月10日 午後2時から4時30分

2 会 場 中央図書館 2階会議室

3 出席者 図書館協議会委員：11名 傍聴者：0名

事務局：館長補佐兼庶務担当係長、小川西町図書館長、
調査担当係長、サービス担当係長、資料担当係長、資料担当主任、
仲町図書館長 計7名

4 配布資料 資料は省略させていただきます。

5 議事等

(1) 報告事項

① 図書館運営状況について

・図書館行事等の報告と今後の予定について(資料No.1)

(これまでの報告)

1月22日から2月にかけて、幼稚園、小学校の図書館見学、職場体験があった。

1月24日、冬の家族1日図書館員を行った。夏の実施が毎回抽選となることから、冬も行っており、昨年度から全館で実施している。本年は5館5家族での開催となった。

1月27日から国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの開始した。サービスを申し込み件数は、現在まで5件ほどである。

1月30日から2月17日まで大沼図書館で、小平市立図書館40周年記念事業として、「小平市立図書館40歳、大沼図書館15歳。いろいろなことがありました」の展示を実施した。昭和50年の小平市立図書館誕生から今日までの流れを年表に表した。また、平成13年に大沼図書館が開館した年からの国内外の出来事とその年の本ベストセラー、芥川賞、直木賞、本屋大賞、その年の世相を表す漢字、流行語大賞等の年表作成、平成13年から26年までの大沼図書館の貸出冊数、蔵書数、棒グラフ等にして表示し展示を行った。

2月6日から15日まで中央図書館で、2月17日から29日まで津田図書館でポスター展示を行った。ポスターは津田図書館で収集をしてきたもので、今回は「消防・防災」をテーマに、ポスター等の地域資料を展示した。

2月11日、12日にかけて小平市立図書館40周年記念事業「ぬいぐるみのおとまり会」を津田図書館で実施した。10組募集のところ25組応募があった。内容は、ぬいぐるみが図書館を夜探検した際などの写真を取り、参加者に本の貸出しや写真を差し上げた。また、この事業は、翌日に読売新聞にも掲載された。

2月20日から3月30日まで小平市立図書館40周年記念事業として「本の虫となっ

た木喰い虫～平櫛田中が収集した書籍～」と題した展示を、中央図書館2階展示ギャラリーで実施している。

2月26日に中央図書館で「図書館検索講座」を昨年度に引き続き実施した。本年度は4名の参加があった。

3月5日から13日まで、喜平図書館で「郷土写真展」を実施している。「こだいらのたてももの（公共施設）」をテーマに開催している。

3月6日に、なかまちテラス開館1周年記念事業として、ワークショップ「短歌であそぼう」を実施した。21名の参加があった。

(今後の予定)

3月13日 きむらゆういち氏による講演会を実施予定。

題目は、「大人のための絵本の楽しみ方 きむらゆういちがすすめる恋愛絵本」。

対象は、中学生以上だが、今回、主にティーンズ世代に向けてPRした。

3月16日 ハンディキャップサービス交流会

3月17日 小平市立図書館40周年記念事業「図書館親子スペシャルデー」

3月19日 小平市立図書館40周年記念事業 講演会「本の虫となった木喰い虫～平櫛田中が収集した書籍」

平櫛田中彫刻美術館の館長 平櫛弘子氏の講演会。現在のところ60人程度の応募がある。

3月26日・27日 小平図書館友の会 古本市

4月2日から5月5日まで こだいら子ども読書月間

4月12日 小平市子ども文庫連絡協議会定期総会

・平成27年度月別貸出状況について（資料No.2）

1月末までの数値を前年と比較して、貸出資料数は75,192点増加している。仲町図書館の開館が主な理由。登録者数は429人増加。貸出者数は28,210人増加している。

・広域利用市別貸出状況について（資料No.3）

貸出者数は東村山市、東久留米市、他市が増、貸出資料数は東村山市、東久留米市、他市が増となっている。

② 小平市立図書館資料選定基準の制定（案）及び小平市立図書館資料収集方針（案）の改定について（資料No.4）

・公開の方法について

インターネット上での公開を行うこととした。公開する理由は、利用者に対して選書のあり方を広く明確に示したほうがよいということ、市の方針として公開できる情報は公開していくこと、図書の購入も公費によるもので、選書についても基準を明示していくことは重要であることなどである。

- ・ 前回の協議会で児童図書に関して、指摘があった部分の修正について。
 - ア. 児童図書に入れるべき事項と、それ以下の「1 絵本」、「2 児童文学」、「3 知識の本」に入れるべき事項が混在しているため整理した。また、以下の点について修正した。
 - (ア) 「2 児童文学」にある「子どもの想像力をはぐくみ、感性を豊かにすることができる」を共通項目へ。
 - (イ) 以前の(5)の長く読み継がれてきたものの一文はここでは削除した。
 - (ウ) 以前の(6)の紙芝居は、「4 紙芝居」、「5 外国語図書」の項目を新設した。
 - (エ) 以前の児童文学の項目にあった翻訳についての記述は、共通項目に移動した。
 - (オ) 「(6) 児童図書の各分野は、特に以下の点に留意して収集する。」と追加した。
 - イ. 「1 絵本」について以下の点について修正した。
 - (ア) 「独自の空想に富むもの」がわかりにくかったため、「独創性のあるもの」と変更した。
 - (イ) (6)は、知識の絵本についてであるため、「3 知識の本」へ移し整えた。
 - ウ. 「2 児童文学」について、どの項目にもある「文体」についての記述が「児童文学」にはなかったため、(5)を追加した。
 - エ. 「3 知識の本」について、文面整理をした。
 - オ. 「4 紙芝居」を新設した。
 - カ. 「5 外国語図書」を新設した。
- ・ その他、前回の図書館協議会のあと訂正を行った箇所について。
 - 視聴覚資料(7)③「同様なサービスを受けづらい分野の資料を重点的に収集する」について、これが何を意味しているのか分かりづらいとの意見があった。この部分は、図書館の公共性を重視する観点から、民間の業者があまり取り扱っていないようなジャンルでも、需要があるようなもの、例えばクラシック、落語、効果音、行事用音楽、ドキュメンタリーなどのようなものをなるべく収集していくという意味合いであり、「公共性を重視した資料を重点的に収集する」と訂正した。

③ ブックリサイクル実施状況について(資料No.5)

全3回の合計で、昨年度と比較すると、リサイクル提供冊数は減少しているが、リサイクル率は上昇している。

④ 3月市議会定例会について

一般質問については、図書館関係は無かった。

3月1日から4日まで、予算特別委員会が開催され、図書館関係について5人の委員から、質問があった。

内容としては、

- ・ 新刊の購入実績及び選書方法について
- ・ なかまちテラスへの要望と改善点について

- ・喜平図書館運営管理事業費について
- ・宅配サービスの状況について
- ・平成28年度の新規事業について
- ・学校図書館との連携推進事業について

という質問があった。当初予算については、3月定例会で議決が予定されているので、次回の図書館協議会で報告する。

(報告事項に関する質疑応答)

委員：ティーンズ図書の中に、「心の成長に役立つ」という文面を残してほしい。

委員：選定基準について、選書のするときの意識が大切だ。選書は価値判断が働くが、価値判断だけに片寄ってしまうと具合が悪い面がある。児童図書は、あまり枠を作らないほうが良いと思う。選書については意識を持って臨んでもらいたいと思う。5ページの復刻版という言葉と7ページの古文書という言葉が気にかかる。江戸以降のものには古文書とは言わない。小平には近世文書はあるのだが、古文書は無い。復刻版についても本来なら「影印版」というべきではないか。図書館員としては本来の意味を知っていて使うのなら良いが、本来の意味からすると違った使い方をしている。

委員：選定基準としては、これで良いと思う。「生き生きとした」とか「調和がとれた」とかは実際にはとても難しいと思う。そういうことを考えて選定すれば良い。「選定会議に出席したい」と、以前、委員のうちのどなたかが話されていたが、この協議会のように傍聴を入れるとか、市民要望の本はすべて入れるという発言はどうかと思う。市立の図書館ではこのような基準に従って選定するのが好ましいと思う。

委員：選定基準を公開することには賛成である。ただ、気になるところがあるのは、選定基準と収集方針で言葉が違っている箇所がある。整合性を確認していただきたい。また、4月から障害者差別解消法が施行されるが、その中で公共施設には合理的配慮の提供が求められるわけだが、選定基準の中でそのようなことに関して配慮すべきかどうかはいろいろな考えがあると思われるが、目配りはしておいた方が良くもしいない。また、先ほど他の委員も言われたが、それぞれの委員の考えというがあるので、細かいことを言い、そこをつついていったらまとまらないのではないかと。

委員：これはこれで十分使えるものになっている。

会長：それでは、選書を担当する人の心構えが大切ということ、言葉の整合性をもう一度確認したうえで、公開してもらえればと思う。

(2) 協議事項

① 平成28年度小平市立図書館事業計画(案)について(協議資料1)

毎年、事業計画を作成し、この計画に基づいて事業は行っている。昨年度との変更点について説明する。

「2 推進事項」の「(1) 主な事業」では、「②中央図書館、仲町図書館に整備したW

i - F i 機能や中央図書館に導入した国立国会図書館デジタル化資料送信サービスにより、利用者の調査研究の利便性を図り、情報サービスを充実させます。」及び「③「第3次小平市子ども読書活動推進計画」を着実に進めます。」を追加した。

「(6) レファレンスサービス」では「⑤公衆無線LAN (W i - F i) サービスの提供 (中央図書館、仲町図書館)」及び「⑥国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供 (中央図書館)」を追加した。

「(9) 児童サービス」では「④おはなし室の開放の実施 (全館)」を追加した。

「(19) 施設の運営管理」では、「④読書・学習スペースの新規設置 (中央図書館)」、「⑤西部市民センター外装補修工事」、「⑥喜平図書館耐震診断の実施」を追加した。

「(25) 開館時間の拡大の実施」を追加した。

② 平成28年度小平市図書館協議会日程 (案) について (協議資料2)

2か月ごと、木曜日に開催しており、平成28年度も平成27年度にならい日程を組んだ。教育委員会内にも多くの委員会及び会議等があり、年度初めに各委員会、会議が重ならないよう予定を組んでいるため、この日程でご了解いただきたい。

(協議事項についての質疑応答)

委員：事業計画に関連して、朝日新聞のデータベースが中央にあり、仲町に読売新聞のデータベースを置くのは利便性がどうかと思う。対比したりする場合もあり、仲町はどちらかというと滞在型で本を楽しむ図書館で、調査研究をするためのレファレンスには向いていない。中央図書館へ移した方がよいのではないかと思う。

事務局：仲町図書館では縮刷版の代わりにデータベースを置いた経緯がある。状況を見極めながら検討していく。

会長：協議事項については、ご了解いただけるか。

委員：了解する。